

障害のある子どもたちと37年
そして今道河原
高橋小夜子

障害児教育論で世界を広げて

私は幼少期、医療事故により右大たい骨の骨髄炎という病気になりました。以来入院と手術を繰り返しながら小2から小6年まではまぐみ学園に入所し、世間の子どもとは少し違う学童期を送りました。小6の9月から地元の学校に戻りました。

障害者というほどでもなく、さりとて身体面のギャップはあり、中途半端な障害者で自分でも「私ってどっち?」といつも感じていました。高3の進路選択の際、悩みながらも捨て去れない自分の障害への思いに、社会福祉が学びたいと日本福祉大学へ進みました。

大学では「障害は自己責任ではない、社会全体で障害者や弱者は支援していく」という考え方を、そして「誰でも発達する権利があるし、十分発達する」という発達保障論を学びました。障害のある子も発達する…発達は縦にも伸びるが、ヨコにも伸びる。その子の持っている力を膨らませつつ、さらに豊かに生きる。新しい考えとの出会いは私の世界を広げてくれ、その後の自

分の核となりました。

重い障害のY君との出会い

卒業後は新潟で障害児教育を37年。障害の重い子の、わずかな表現で訴えてくる姿に応え一緒に活動する日々はとても楽しく意義ある毎日でした。

三条市の月ヶ岡養護学校時代、医療的ケアの支援が必要なY君との出会いは鮮烈でした。常時痰の吸引が必要な生徒で、気道にカニューレを付けていました。カニューレからの痰の吸引はもちろん学校看護師の仕事ですが、その吸引のタイミングをはかるのは担任の仕事です。抱っこしかたが上手でないと呼吸もつらく痰が上がりやすくなります。

そのため起きている姿勢はとらない方がいいという同僚の意見もありましたが、学校はしっかり覚醒することから始まるのでそれはできないと、私はY君の姿勢を保ちつつ、快適な朝の会をすることに必死でした。

そのY君、揺れ遊びが好きでした。ある日のこと、光の差し込むほうに目を向けながら穏やかに私の歌で揺れて目を開け外界を受け止める姿は、Y君との気持ちの交流ができたと思う瞬間でした。ヨコへの発達を信じる目がなければできない事でした。

Y君は卒業後、日中支援の施設に通っています。でも学校ほどの人手はなく「眠っている日々」とお母さんは言いました。障害の重い子にとっての

学校の役割の重要性を感じました。

平和でこそ障害者は輝く

ロシアのウクライナ侵略を受け、障害者問題を考える時「平和じゃないと僕は生きることができない 戦争は弱い人を 傷つけ 殺すから」と広島の西原海さん(Y君と同じ障害です)は家族とともに言います。

そして私の尊敬する藤井克徳さん(日本障害者協議会J-D代表)は「障害者をしめ出す社会は弱くもろい」と語ります。「障害者や高齢者など社会的弱者が大切にされている社会は一般の人も大切にされている」とも。そして「どう大切にされているか、その物差しが憲法だよ」と藤井さんは言います。

重い障害を抱え、命の最前線ながらもしかし豊かに生きる子どもたちとふれ合い、共に育ち合ってきました。どんなに障害が重くても、生きていてステキだなと感じさせてくれる存在の人たちを、真っ先に大切に思う世の中になっただけほしいと思います。

ウクライナへの侵略を契機に、軍事費を倍にすると政府はいいます。でも限られた予算、軍事費のねん出のために障害者や高齢者など弱者を支える福祉の予算に手を出してはいけません。福祉の予算削減は、私たちの命を細くすることです。

「平和ってステキだね」Y君が私たちに語りかけているようです。

高齢者に学ぶ伝統食づくり

第八回 焼売(シューマイ)



小規模多機能居宅介護
ゆうばえの家
加藤理恵子

伝統の味をつないでいく企画でしたが、今回は趣向を変えて手作りで作ったことがないものを作ってみようということになりました。餃子の手作りはやられた方もいらっしやると思いますが、焼売はなかなかないのではないかと思います。そこで今回はう話になりました。そこで今回は焼売作りにチャレンジ!

参加していただいた皆様も作られたことがないので皆さんで相談しながら料理していききました。皮は粉からこねて、寝かせます。午前中に皮作りし、午後から焼くことにしました。

ました。焼ける音と匂いが立ち上り、食事を五感で楽しめます。実食では今まで食べた焼売よりジューシーで噛むと肉汁が口の中に溢れてきます。焼売作り大成功でした。ゆうばえの家ではお肉が大好きな方が大勢いらっしやいます。大好評のうちに食べていただけました。失敗してもいいよう準備していた、既製品の餃子の皮もありましたが、それも後日調理して皆様に食べていただきました。手作りの美味しさを存分に味わいました。



完成した手作り焼売



焼売のタネを作る利用者様

「新川 橋物語」

第十一回 農林省橋

越後新川まちおこしの会
世話人 加藤 功

「農林省橋」は、大正2年完成の新川九門暗闇が完成した際に架けられ、近くに旧農林省新川農業水利事務所があった事から命名されました。

現在の橋は、昭和35年8月に架け替えられました。下流の大萩橋も同様に作られ、橋幅は異なりますが橋の銘板も同じ作りとなっています。近年補強工事し、歩道橋となっています。

新川の桜並木は新川暗闇完成後に植えられ、暗闇から大萩橋までの両岸と、大萩橋から崎山橋の右岸にありました。



新川右岸の農林省橋前を着飾って桜見物の女性

昭和30年代は内野の名所として桜写真のコンテスト会場にもなり、新潟からカメラマンが押し寄せたそうです。

上の写真は昭和28年春、まだカラー写真など珍しかった時代のもので、5年前に内野小学校で発見されました。

写真を小学校に寄贈したのは内野の料亭「源蔵」のご主人・青池国政氏で、春になり、人々が新川の花見を楽しんでいる様子が伝わってきます。

昭和30年代の堤防改修工事により大萩橋から水路橋までの右岸の桜は伐採され、代わりにメタセコイアが植えられ現在大きく育っています。



歩道橋として補強工事された現在の農林省橋前



豚肉のマリネ

五十嵐中島 作間則子

材料

- ①豚肉 (切落し) 300g
- ②玉ネギ 1個 キュウリ 3本
- ドレッシング
 - トマトケチャップ 1/2カップ
 - しょうゆ 大さじ2
 - サラダ油 大さじ2

作り方

- ①ボールにドレッシングを作る。
- ②玉ネギは皮をむき2つに割り、薄切りにする。
ドレッシングの中に薄切りの玉ネギをバラバラにして混ぜる。
- ③豚肉は大きさを揃えるために適当に切る。
- ④豚肉をゆでる。
- ⑤ゆでた豚肉を玉ネギのドレッシングとよくあえる。
(②に混ぜる)

取り合わせはブロッコリーとトマト。

※料理時間は短く忙しい方でも簡単に作れます。

※味にうるさい中学生の孫が「美味しい」と言って食べてくれました。

※高齢者にも良質なたんぱく質は必要ですのでこの料理で栄養を確保して下さい。

地域の声・話題コーナー

ヨガ教室に参加して

体操教室に参加しているのですが少しは体が動くと思って参加したヨガ教室。先生が人体模型を用い「腰には骨がないから雑巾のように左右自由に絞れますよ」笑いを交えた指導のもと、楽しい雰囲気の後押しされ力を抜いて雑巾絞りを想像して再挑戦。今度は少し伸びて気持ち良い。幾つか教えて貰った中で「背伸ばしは布団の中でもできる」助言をいただいたので、さっそく実践したいと思いました。ほんわか、汗も出て、楽しい時間をありがとうございました。(服部貴美子)

お元気会の予定

11月

- と き 11月24日 (木) 10:00~11:30
- ところ 西コミセン調理室
- 内 容 藤尾鈴子さんを講師に
美味しいピザ作り



12月

- と き 12月22日 (木) 10:00~11:30
- ところ 西コミセン
- 内 容 冬ごもりを防ぐ脳トレ・筋トレ
講師 古川理志健康運動指導士



押し花サークル



月に一度、「葉書」という小さなキャンバスに押し花でデザインすることが好きな人たちの集まりです。

押し花はまず花を集めることから。わが家の庭はもちろん土手や野原などから身近な花を集めます。また、畑のゴーヤのツルはリズミカルな表情を出してくれますし、キュウリの花はそのままとてもきれいな黄色になります。

期待していた通りの色が出ず落胆したり、思いがけず美しい色が出て大喜びしたりしません。今、一番のお気に入りは「つゆ草」です。押し花にした時の鮮やかな「青」と「蝶のような形」が印象的です。

「押し花葉書」は「バースデイカード」や「クリスマスカード」「季節のあいさつ」「お悔やみ状」などに使います。

「バースデイカード」は華やかに。「お悔やみ状」はなるべく色を抑えて受け取った時の相手の顔を思い浮かべながら心を込めて作ります。

メンバーは、近頃は「色紙」に挑戦。画面が広くなり、より幅広い表現ができるようになりました。仲間と過ごす時間は楽しくアツという間に過ぎます。これからもこの時間を大切にしたいと思っています。

(押し花サークル責任者 丸山真紀子)

物価高騰、なんとかして！



電気料金・ガス料金に端を発した物価高騰が、庶民の暮らしを直撃しています。共通するのは「じわじわ感」と「その先不透明感」。町の声を拾ってみました。

・ どんどんお金が出る。野菜が高い。ブロッコリー250円白菜1/4個120円、何！

・ 果物が高すぎる！ 1房1000円のブドウはざら。それでも買う人がいるんだから、貧富の差がますます出てきたように思う。

・ 医療費は窓口負担が2割になった。通院我慢が必ず出てくる。この国はどうなってしまっただかね。

・ つい〇割引きに手が出る。半額になる頃を狙って行く。

・ お肉の国産がじわじわと値上がっている感じ。外国産が売り場スペースも広く、値段も安く大手を振っている。加工品はもう何が何だかわからない。

・ 年金はこの6月から0.4%下がった。身を削る生活になっている。

・ 安いと思って契約した新電々、7月から1.8倍の値上がりになり仰天。

・ 1万円がすぐになくなる。使いがなくなった。

・ 大まかな計算をして買っているがレジに行くと、こんな値段にならないはずと予想以上の値段にあ然とする。消費税10%が重くのしかかっている。

・ 子育て真っ最中なのに給料が上がらないのは本当に苦しい。どうなっているんですかね？

Information

夕映え新聞 通信員大募集

お住いの地域のとおき情報をお知らせください。

季節が秋から冬に移る頃、読者のみなさんの身の回りのこと、ペットの可愛い様子や季節の花々など写真一枚を添えてお送りください。

編集責任者 高橋 実

電話 025-264-5000 ゆうえい会

携帯 090-2661-8249

メール takahashi_m@niigata-min.or.jp

【配食事業部】 070-4453-5228 (小島)
見守りとあわせて食の確保をお手伝いさせていただきます。込み合っていますので、利用日のご相談をさせていただきます。

【生活支援】 070-4314-3980 (神立)
夕映えの会の助け合い活動で、草取りやお買い物・お出かけ等の移動支援を行なっています。お気軽にご相談下さい。

コミ協健康教室 第2回認知症予防

10月8日開催

- ① バランスの取れた栄養
 - ② 良質な睡眠
 - ③ 適度な運動
 - ④ 料理や趣味活動など知的活動、また脳トレ
- 「認知症になつては大変」と多くの方が関心をお持ちです。第2回の健康教室はそんな関心事に応えた講演と体操の時間でした。
- 古川健康運動指導士から認知症予防の5つのポイントを教えてくださいました。それは



⑤ 他者との交流です。脳トレでは、できないことを脳は喜ぶとして、恥ずかしがらずにチャレンジをと呼びかけていただきます。今回は転倒予防です。年初の開催を検討しています。

編集後記

映画「男はつらいよ」で渥美清さん演じる寅さんが恋に破れてとある地方へという場面が幾度となくありました。地方の豊かさの象徴として、たわなに実をつけた柿の木が秋のシーンには必ず出てきました。今年は柿が豊作のようです。夕映えの各施設では利用者さんがさわし柿や干柿作りに精を出しています。豊饒の秋は、利用者さんも輝きます。(M記)